

送信先 報道各位  
送信枚数 本紙を含めて 2 枚  
送信日 2023 年 11 月 29 日



## 12 月 3 日は「世界ニホンザルの日」です！

いつも日本モンキーセンターの活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、12 月 3 日の「世界ニホンザルの日」が近づいてまいりました。今年も多くの方にニホンザルについて知っていただく機会といたく、貴メディアにてご紹介いただければ幸いです。

### ■「世界ニホンザルの日」とは？

1948 年 12 月 3 日に京都大学の今西錦司らが宮崎県の幸島で初めてニホンザルの調査をおこないました。日本の霊長類研究の始まりの日にちなみ、2021 年に日本モンキーセンターが中心となって呼びかけ、12 月 3 日を「世界ニホンザルの日」としました。

ニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中でももっとも北に生息し、霊長類の多様性を象徴する動物です。今西錦司らが創始したニホンザルの研究は、その生態や社会の解明から医学研究への応用にいたるまで、霊長類学を発展させ多くの知見をもたらしてきました。いっぽう、絶滅が心配される地域もあれば、ヒトとの軋轢が生じている地域もあり、ヒトと野生動物の共存について考えさせてくれる存在でもあります。

このようなニホンザルの魅力を知り、関心を高め、保全や福祉について考える日とするため、国内の動物園などでさまざまなイベントが企画されています。

### ■2023 年のポスター

第 1 回目となる 2021 年のポスターは、日本の霊長類学が始まった地である宮崎県の幸島の写真で、2022 年は次いでニホンザルの研究が始まった大分県の高崎山の写真で、ポスターを制作しました。

今年は、1950 年代に餌付けや研究者による調査が始まった小豆島の写真で、ポスターを制作しました。小豆島のニホンザルは、日本モンキーセンターで飼育しているニホンザル(ホンダザル)の故郷でもあります。また、他では考えられないほど大きな“サル団子”をつくり、その寛容性の高さでも注目されています。

**世界ニホンザルの日**  
Celebrate World Japanese Macaque Day on December 3!

1948年12月3日、宮崎県の幸島で、京都大学の今西錦司らが初めてニホンザルの調査をおこないました。これにちなみ、12月3日を「世界ニホンザルの日」とします。ニホンザルは、ヒトを除く霊長類の中でもっとも北に生息し、霊長類の多様性を象徴する動物です。生態や社会から医学まで、霊長類学に多くの知見をもたらしてきました。絶滅が心配される地域もあれば、ヒトとの軋轢が生じている地域もあり、ヒトと野生動物の共存について考えさせてくれる存在でもあります。「世界ニホンザルの日」を、このようなニホンザルの魅力を語り、関心を高め、保全や飼育下の福祉向上について考える日にしましょう。

小豆島では高麗家で1946年に、鏡子溪で1956年に餌付けが始まり、世間から大きなサル団子をつくるなど寛容性の高さが注目されていました。鏡子溪では今も「お漬の面」でサルを観察することができます。そこで2023年のポスターは鏡子溪の写真をお借りして制作しました。

写真：(左)柳井雄樹、(小豆島)鏡子溪 自然動物園 大塚の隆典

関連イベントなどは  
Webサイトをご覧ください <https://bit.ly/WJMD>  
関連イベント、ポスター掲載レポート募集中！

世界ニホンザルの日 2023実施事務局  
日本モンキーセンター JAPAN MONKEY CENTRE  
愛知県犬山市内山町10-1  
TEL 0568-61-2327

## ■関連イベント

日本モンキーセンターでは以下のイベントを予定しています。

- 12月3日(日) 10:00～ 世界ニホンザルの日 記念グッズ(一筆箋)発売  
11:00～ モンキー日曜サロン「サルはなぜ遊ぶ? 遊び心の進化を探る」  
14:00～ ちょびっと飼育員体験～おやつをつくろう!～  
時間未定 園内ガイド
- 12月22日(金) 冬の風物詩「たき火にあたるサル」スタート

そのほか、札幌市円山動物園、熊本市動植物園をはじめ、各地の動物園でニホンザルに関するイベント等が予定されています。

## ■モンキー日曜サロン「サルはなぜ遊ぶ? 遊び心の進化を探る」の内容

講師: 壹岐 朔巳 先生(京都大学 ヒト行動進化研究センター)

サルの子どもたちは、家族や他の子どもたちと遊ぶことが大好きです。サルのなかまのなかには、私たち人間と同じように、遊びが盛り上がると笑顔になり、笑い声を発する種も存在します。厳しい野生の環境では、サルが遊びに使える時間は限られてしまいますが、食事の機会や天敵からの安全が保証された日本モンキーセンターのような環境は、サルの遊びを観察する絶好のスポットとなります。遊びは古くから研究されてきたテーマですが、まだまだ多くのことが明らかになっていません。遊びは何かの役に立つのでしょうか? 遊ぶ動物と遊ばない動物の違いは何でしょうか? 自身の研究や世界中でおこなわれてきた研究から少しずつわかってきたことをお話しします。



## ■記念グッズのイメージ



一筆箋(12/3 発売)



ステッカー(12月上旬発売)



澤田酒造(常滑市)  
コラボラベル日本酒「爛猿」  
(販売中)

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人日本モンキーセンター 〒484-0081 愛知県犬山市犬山官林 26  
TEL: 0568-61-2327 FAX: 0568-62-6823 メール: info@j-monkey.jp  
問い合わせ先: 赤見、綿貫、江藤、高野(学術部)、辻内、荒木(附属動物園部)